

【質問】市内すべての学校が安心安全に教育を受けられるようにするために、新たなかつ継続的取り組みが必要。

【答弁】各学校の特色ある取り組みを推進するとともに、楽しくわかる授業づくりとお互いに認め合う共感的な学級づくりを基盤とし、教職員の資質、能力の向上に、より一層努めたい。

【質問】羽咋中に対して行った取り組みは。

【答弁】学校生活の基本的なルールについて全校生徒、保護者に周知し、その基準に従って一貫した指導を粘り強く行った。また、市内全小中学校の6年生担任と中学校1年生担任がワーキング会議を重ね、円滑な接続のための具体的な取り組みを提言した。さらに、県のいきいきサポート非常勤講師配置の事業も活用し、授業や校内巡視等を通じて生徒の健全育成に尽力している。

【質問】学校とPTA、保護者、地域との良的関係の構築を。

【答弁】現在、学校、家庭、地域の協働による教育活動が展開されていると考えている。PTAも学校の教育活動への参加や教育環境整備などご尽力いただいております、地域の方々にも見守り隊や学校ボランティア等の活動で児童生徒の安心、安全な学校生活を支えていただいている。

【質問】少年育成センターの周知を。

【答弁】市内の全小中学校を回り、説明を行い周知を図るとともに、PRのCDを作成し昼食時間等に流した。保護者にはポスターや家庭教育のチラシ等でお知らせした。

【質問】トキ保護のための条例改正や保護指針の策定を。

【答弁】本市独自の保護方針の策定については、複数のトキが本市に定着することが最適なタイミングと考えている。

【質問】トキが戻って来た際の悪質な行為やマナー違反を防ぐため、腕章や帽子、看板などを用意し、巡回できないか。

【答弁】市内の保護団体等と連携し、観察マナーの向上など啓発活動に努めたい。

【質問】自然栽培、環境保全型農業のアピールを。

【答弁】今後も、のと里山農業塾での研修状況等を広報やホームページ、フェイスブックで報告していきたい。

【質問】認知症キャラバン・メイトの活用を。

【答弁】適時、適切な支援対応ができるよう関係機関と連携し、システム構築を進めていきたい。

【質問】傾聴ボランティアの活用を求む。

【答弁】ボランティア本来の目的が果たせるよう今後検討していきたい。

【質問】有償除雪ボランティア組織の新設を求む。

【答弁】敷地の除雪等を含めた個人に関する問題については、まず自助、それでも対処できない場合は共助が基本であると考えている。さらに必要な場合に初めて行政による公助で対応すべきものと考えている。

【質問】総合窓口サービスのサービス維持の工夫を。

【答弁】市民の皆様にご負担やサービス低下を招かぬよう、委託会社とも十分に相談しながら創意工夫し、できるだけワンストップサービスに近い窓口を考えている。

【質問】災害発生時の精神的ストレスの配慮を。

【答弁】原子力災害を含め避難が長期になる場合などは、医師や保健師などの専門職をカウンセラーとして避難所に派遣を依頼したり配置するなどし、心のケア活動の充実に努めていきたい。

【質問】駅東宅地造成の詳細を住民に対して説明を求む。

【答弁】事前に工事概要などを周知する予定であり、新たな住民の方々がスムーズに地域に溶け込めるために、町会が主体となり触れ合いの機会を持っていただけるようお願いしたい。

【質問】フェイスブックのさらなる活用を。

【答弁】今後も広報、ホームページとあわせ、さらなる情報提供に努めていきたい。

【質問】プロジェクトチームの活用の考えは。

【答弁】今後も必要に応じてプロジェクトチームを立ち上げ、人材育成につなげていきたい。

【質問】ふるさと寄附金の特典に「一日市長」を。

【答弁】話題性などの視点からも考慮し、前向きに検討させていただきたい。

【質問】市職員はもっとボランティアや地域活動への積極的に参加を。

【答弁】より積極的に地域行事等へ参加し、地域の実情や要望などの把握に努めるよう職員にいま一度指示したい。